

内水氾濫・外水氾濫



- ❗ 内水氾濫は河川から離れていても発生する
- ❗ 外水氾濫は住宅の倒壊・流出などの被害を起こす

内水氾濫・外水氾濫の違いと特徴

周りより低い土地で起こりやすい

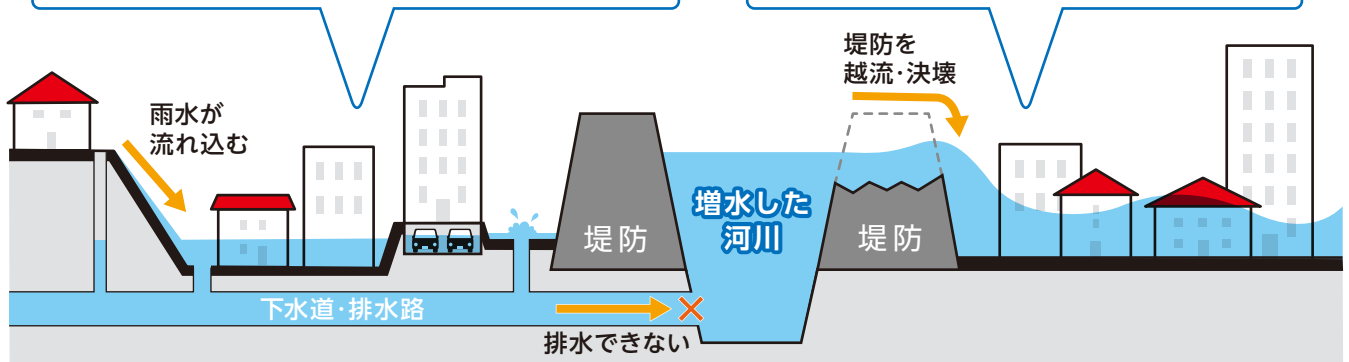
内水氾濫 排水機能の不全が原因

下水道や排水路の排水能力を超える大量の雨が降ったり、河川の水位が上昇して下水道等から河川に排水できなくなったときに、溢れ出した雨水で建物や道路が浸水してしまいます。

河川の近くで起こりやすい

外水氾濫 河川の増水が原因

河川の堤防から水が溢れたり、堤防が決壊することにより、市街地や田畑に水が流れ込む現象のことをいいます。広範囲で浸水するおそれがあります。



事前にやってほしいこと



雨水ますや側溝の手入れ

雨水がスムーズに排水されるよう、普段からこまめにゴミや落ち葉を取りのぞきましょう。



避難経路の確認

冠水するおそれのある道路やアンダーパスは、「洪水・土砂災害マップ」で確認しておきましょう。

水害による被害を減らすために

緊急時に「土のう」の支給

大雨等による住宅等への浸水防止手段として、「土のう10袋程度」を支給しています。



必要な方は、市役所に相談してから取りに来てください。

風水害時の「車両退避場所」

車両を水没等の被害から守るため、市施設や民間の駐車場等を「車両退避場所」として開放します。災害時の利用については、受け入れ準備が整い次第、小山市安全安心情報メール、小山市ホームページ、小山市防災ポータルなどで周知します。

詳しい内容については、市のホームページを確認してください